

総評

理科と社会が難しめでしたが、英語が易しめ、全体としては標準的な難易度の出題となりました。

入試や道コンのような総合問題は、学校の定期テストにくらべて出題範囲が広いので、難しく感じる人が多いかもしれませんが、問われているのは基本的な内容が中心です。攻略するには、基礎・基本の定着と、場面に応じて知識や技術を活用する訓練とが欠かせません。これからは、実践的な問題にも少しずつ取り組んで、活用する力をつけていきましょう。

入試問題の半分以上は、1・2年の学習内容で解くことのできる問題ですから、この範囲を復習し、定着させておくことはたいへん重要です。スムーズに受験勉強を始めるために、1・2年内容を完璧にしておきましょう。

国語

標準的な難易度の出題となりました。

㊦は、問一(2)の得点率が低くなりました。「ふしゅう」という誤答が多かったです。㊦は、問四の得点率が低くなりました。問四は、文章全体の内容把握ができなければ解けない問題だったため、難しかったと考えられます。最近の入試でも、古典において、全体の内容把握が必要な問題がよく出題されます。全体の流れをつかむ練習が大切です。㊦は、比較的よくできていました。㊦は、問一の得点率が低くなりました。今回は動詞の活用形が問われましたが、動詞だけではなく、形容詞や形容動詞の活用形も確認しておきましょう。㊦は、問一の得点率が低くなりました。問一は、漢字四字で答える問題でしたが、一部がひらがなで書かれた解答がありました。問題文の指示を見落とさないようにしましょう。

数学

得点率が10%を下回る問いが3題もあり高得点は取りづらい構成でしたが、基本的な内容も多く出題され、全体としては標準的な難易度の出題でした。

①はいずれも基本問題ですが、計算では通分・約分など分数の計算におけるケアレスミスが目立ちました。しっかり復習しましょう。②は、問1の(2)が大切な問題です。「出る目」と「止まる点」を区別して場合を整理し、数え上げることが大切です。解説を読んで、もう一度解いてみましょう。③問1、「原点を通る直線」は比例のグラフになります。問2、変域はグラフを利用して考えましょう。教科書を読んでもう一度チャレンジしましょう。④はよくできていますが、「錯角」「同位角」の位置関係があいまいな人が多いようです。⑤は中1内容。円柱・円すい・球の体積の求め方を確認しよう。

社会

やや難しい出題でした。

地理分野では、①問1、問3や②問2のような完全解答の問題の得点率が低くなりました。②問4、④問1は比較的得点率が高い問題でしたが、×になった解答には「減災」の「減」を「減」、「択捉」を「捉捉」と書いたものが多く見られたので、正しい漢字で書いているかよく確認するようにしましょう。

歴史分野では、③問4(2)の得点率が低くなりました。指定語句がない、図について書いていないなど、問題の指示に沿っていない解答が多く見られましたので、問題文をよく読み、指示に沿って解答を作成することを心がけてください。また、③問1、⑤問7の年代並べかえ問題の得点率も低くなりました。苦手な人は教科書の年表などを利用して歴史の流れを確認しておきましょう。

理科

やや難しい出題でした。

①は問2が難しかったようです。計算問題ではありますが基本的な内容です。しっかり復習しておきましょう。②は特に難問もなく全体によくできていました。間違えたものはしっかりと復習しましょう。③は、問4が決して簡単ではありませんでしたが、一定数正解できた人がいました。④は問2が難しくなりました。このような問題は、標高を柱状図に書き込むと考えやすくなります。⑤は問1(2)と問3が難しくなりました。問3は思考する問題で難しい内容でしたが、問1(2)は凸レンズの基本的な考え方です。よく確認してください。⑥は文章量が多く読むのに時間がかかったと思いますが、読み解いて正解を重ねた人は少なくなかったようです。⑦は問5の計算問題が非常に難しくなりました。

英語

やや易しい出題でした。

①問4のようなメモの空欄補充の問題は、高校入試でも出題されます。放送が読まれる前に、あらかじめ問題用紙に目を通しましょう。

②問1や問2は確実に得点したい問題です。他にも、数字、曜日、天気などに関する英単語は、スペルミスを含まずに書けるようにしましょう。

③A問3の空欄補充では英文の流れを正確につかむことがポイントです。Cは問4(2)①のhowと答える問題で得点率が低くなりました。長文問題は解いて終わりではなく、和訳を見ながら読み直しをしましょう。

④の英作文は条件に従いながら、スペルミスや文法ミスを含まない英文を書くことが重要です。教科書の英文を真似するところから始めるとよいでしょう。